

新型コロナウイルス感染拡大の 影響に関するアンケート

報 告 書

令和 2 年 6 月

北見商工会議所中小企業相談所

I 調査概要

1.目的

「新型コロナウイルス感染拡大についての緊急事態宣言」前後の影響について実態を把握し当所の施策に活かすとともに、広く参考としてもらうことを目的に実施した。

2.調査時期

令和2年6月5日～令和2年6月15日

3.調査方法

会員事業所にアンケート用紙を送付しFAXで回答を依頼

4.調査対象並びに回収状況

全会員事業所1650社のうち回答事業所は85社、回収率5.1%であった。

業種別の内訳は以下の通り

	全体	製造業	建設業	卸売	小売	サービス
回答社数	85	10	14	10	16	35

5.調査内容

- ・コロナの影響
- ・活用した公的支援策
- ・期待する支援策
- ・コロナの影響を受けての工夫や取組

II 調査結果

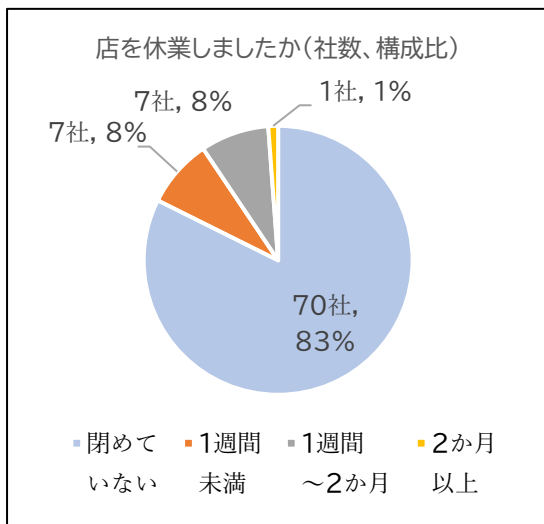
先般皆様にご協力賜りました、新型コロナウイルス感染拡大の影響に関するアンケートについて以下の通り取りまとめましたのでご報告いたします。参考にしていただければ幸いです。

コロナによる経済活動の停滞は広い分野で甚大な影響を及ぼしており、一層の支援策を求めていることが分かります。

当所に寄せられる相談では、持続化給付金等の各種支援策を知らない事業者も未だにいます。一方で補助金の相談では、アンケートにあるように変化をチャンスに転換しようとする前向きな動きが増えています。

【コロナの影響】

① 長期間にわたり休業しましたか。



休業したのは15社、17%でした。

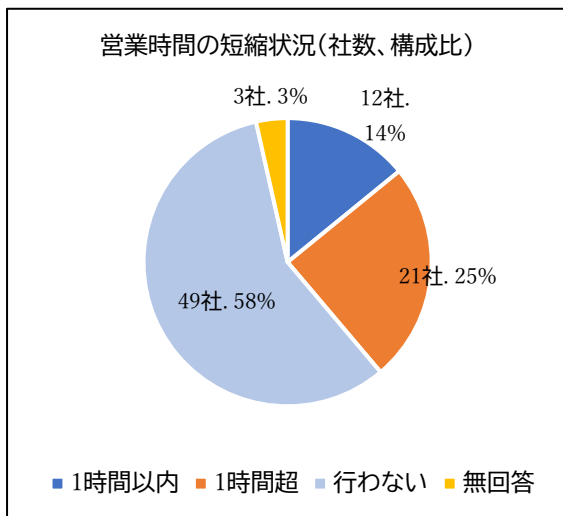
休業した数を業種別にみると、

サービス業	7社
小売業	3社
建設業	3社
製造業	2社
卸売業	0社

でした。

2か月以上休業した事業所も1社ありました。

② 営業時間の短縮を行いましたか。



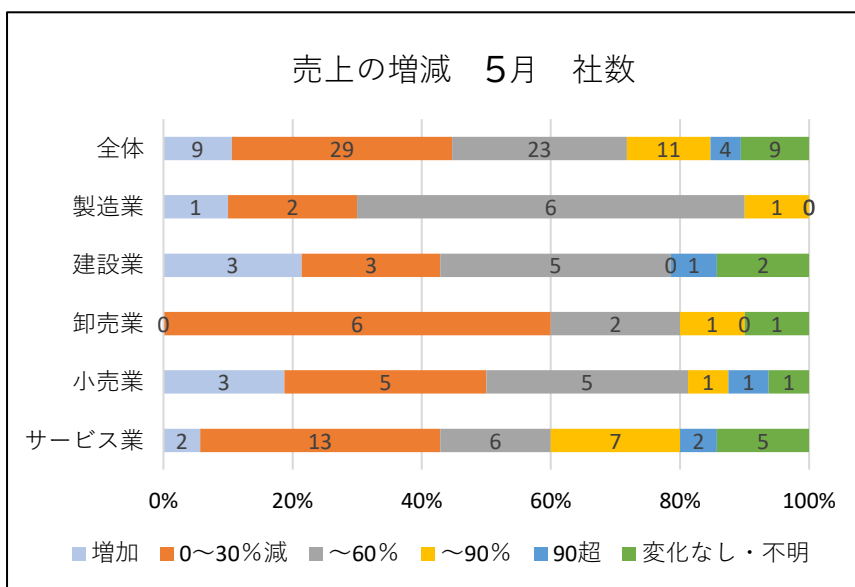
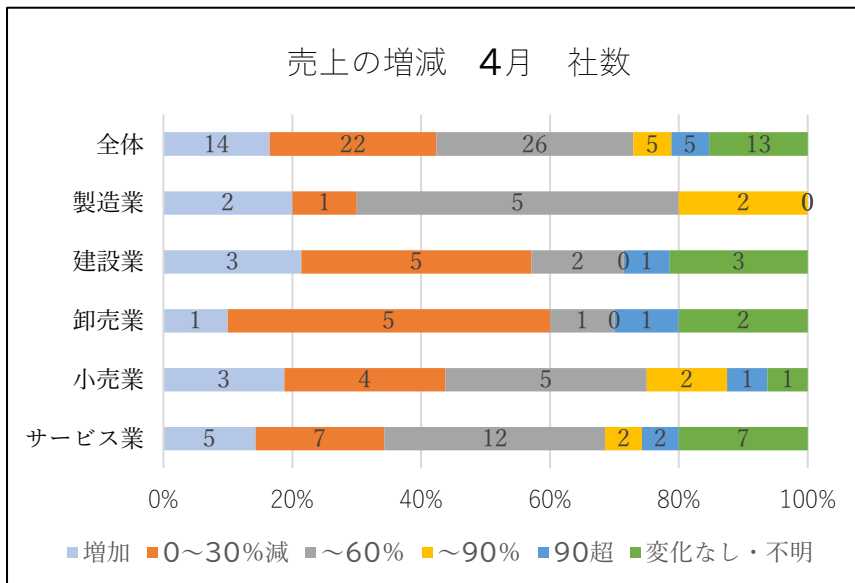
営業時間短縮を行ったのは33社、39%でした。

業種別にみると

サービス業	13社
小売業	9社
卸売業	5社
建設業	4社
製造業	2社

でした。

③ 4月および5月の前年対比売上

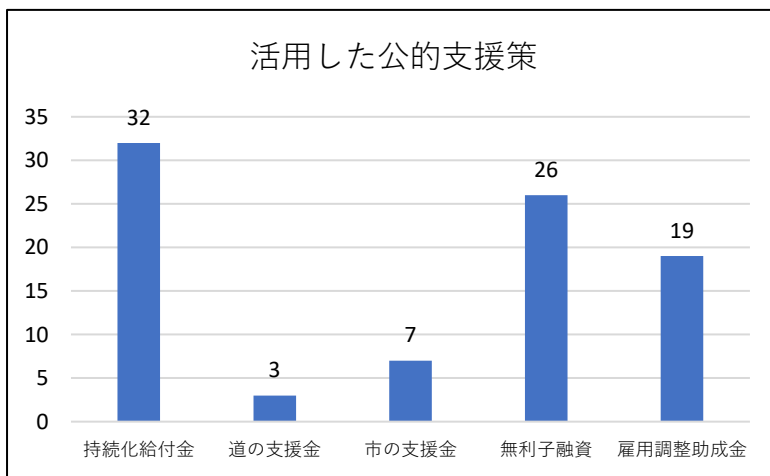


売上減少と回答した事業所の合計は4月58社68%、5月67社、78%と、4月と5月を比較すると5月のほうが厳しさが増えています。

売上60%以上減少の具体的な業務内容は、飲食、宿泊およびそれに関連する取引業者、衣料品小売、対面営業ができなくなったサービス業、現場工事を控えた建設業、旅客・タクシー関連等、多岐にわたり、影響の広がりが見て取れます。

一方で増加した事業所も4月が14社16.4%、5月が9社、10.5%ありました。増加の中にはネット販売や小売専門店があり、いわゆる「巣ごもり消費」の拡大に伴う業種がありました。

【活用した公的支援策】



ひと月の売上が前年同月比で50%以上減少した事業者に対して法人200万円、個人事業者100万円を上限に支給される持続化給付金が32社でした。

業種別にみると

- サービス業 9社
- 製造業 8社
- 小売業 6社
- 建設業 6社
- 卸売業 3社

でした。

無利子融資26社、手続きが煩雑と言われる雇用調整助成金の活用は19社で、アンケート時点での国の主要な政策は相応に浸透しているようです。

対象先が限られている道の支援金は3社、市の支援金は7社でした。

【売上の増減以外の特記すべき影響】

フリーアンサーで答えていただいております。

以下のように類型化しました。

従業員の休業実施に関するもの	12社
休業実施・営業時間短縮に関するもの	5社
サプライチェーンの毀損・変化に関するもの	5社
減給・解雇に関するもの	3社
感染対策に苦勞していることに関するもの	3社
イベントやセミナーの中止に伴う損害に関するもの	1社
営業活動自粛の影響に関するもの	2社
取引社の閉店・休業に関するもの	2社

【期待する支援策】

フリーアンサーで答えていただいております。

支援策の対応についての意見をひとまとめにしました。

長期・多方面にわたる影響に対し、一層の支援の拡充を求める声が多くありました。

◎運営について

真面目に申告し納税している人に国・道・支援事業を紹介してあげてください。
助成について別雇用で多額の費用を使っている 現職員でやったらどうか
例えば「マスク」は自治体に一括送付、自治体が対応し、無駄金を別の方にまわしてはどうか
他に給付受けられる制度は？
6～7週間に及ぶ「緊急事態宣言」下の北見市にあって、緊急時のセンターは一体、何処に有り、どの様に運営されていたのでしょうか？
行政の業務効率を改善して頂き、「情報の共有」「迅速な給付」を実行していただきたいと思ひます。

◎支援の拡充

持続化給付金の「50%以上減少」をどうにかして欲しい。
タクシーや飲食関係のクーポン発行は不公平であり使いづらい制度であった。出前等も来てもらえない地域もあり、広く公平な支援を行ってほしい。
補償の充実
家賃・市道民税・健康保険料・事業税等、固定費の補助・減免
建設業界の事を忘れていて、建設業関係は今年より来年以降だと思ふので、10万・20万の支援では足りない。薬、ワクチンが出来るまで毎月の支援が必要だと思ふ。
新型コロナウイルスの影響はしばらく続くと思ふので、第2第3の公的支援策を望む。
あらゆるイベント等が中止となる中、物・人が止まり、停滞感が大きい。 市内事業所各方面からまんべんなく、物品の購入等を積極的に考えていただきたい。
感染防止資材や感染防止の取組み（Web環境等）についての支援金の中小企業向けのを期待します。
給付金の増加を期待したいものです。
金銭の受給は限度があると思ふので、納税の減額や水道料金の減額などがあればいいと思ふ。
家賃の支援を早く申請したい
消費税を廃止し、プライマリーバランス黒字化目標を廃止するように政府に強く訴えること
北見市の飲食・宿泊業だけでなく、運輸にも支援金を
テレワークの推進支援
感染防止に細心の注意をしながらの支援はスタッフの負担が大変大きいです。頑張ってくれている従業員に目を向けて欲しいです。
国民のライフラインとなる業種は閉める事が出来ない。この様な業種に対しても何らかの支援策があっても良いのではないのでしょうか。

民間企業への仕事の発注
規模に応じた支援
コロナの影響がまだ終息しておらず、地元客少なく観光客はゼロ、持続していくには支援がなくてはならない状況です。
売上減少のため店舗を維持する助成金
設備投資への支援策

【コロナの影響を受けての工夫や取組】

フリーアンサーで答えていただいております。

新しいビジネスモデルや非対面への切り替えの回答も多く、逆風下での変化をチャンスに転換するたくましい事業者の姿が見られます。

◎新しいビジネスモデル

オンライン婚活パーティーに切り替えて開催、オンライン会員を募集中
飲食は休止し、テイクアウトメニューを増やして対応しています。
飛沫感染防止（パーティーション製作・販売予定）既製品販売の強化
テイクアウトをはじめ、座席の間をあけるなど密にならないように努力はしています。
ソーシャルディスタンス・テイクアウトの取り組み。
稼働率の低下した生産ラインを活用し、畑違いの分野の受注をこなしている

◎非対面への切り替え

テレワークの導入、海外の仕入をテレワークに変更。
対面営業を極力避け電話・郵送での営業をしている。
営業は面談を止めて配付物対応
4～5月は不要不急と判断されるお客様訪問は自粛し、メールやリモートアクセス等を利用した遠隔サポートを通常より多く利用してお客様対応を行いました。
オンラインを使用した会議、お客様との商談

◎感染・飛沫対策

事務所に空気清浄機を設置
手洗い、うがい、消毒、マスク着用、検温の実施
感染リスクを抑えるために事務所を2つに分けて（1階と2階に）事務作業をしています。
全車輻に消毒液を持たせ、業務後キャビンの中を消毒させています。
朝礼の分散、防護服の着用

◎その他

マスクの原価提供をしています。
明るく笑顔でいるようにしています。こういう時だからこそ、他業種の方とも出来ることで協力しています。
例年より時間に余裕がある為、その時間に新しい事業等の計画や準備をしています。
テイクアウトが「夕～夜」で、昼間、昼食用のテイクアウト（店）が欲しい。
数社・数店舗で食品等を移動販売車による協同販売もいいのでは、無料で広告利用出来るシステム
建設業ではどうしようもない。